※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な表現技法を通して、造形的な視点で対象をとらえる力を養いましょう。
・自己の思いや考えを作品に込め、制作の意図を明確にして創造的に表現しましょう。
・美術作品や美術文化に親しみ、心豊かに社会と関わる美的感性を養いましょう。

2　学習の到達目標

・美術の幅広い表現技法を通して、造形的な要素を理解した見方や考え方ができている。
・感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成したり、意図や目的に応じて表現方法を創意工夫したりしながら、創造的に発想や構想を練っている。
・主体的に美的体験を重ね、生活や社会の中の美術の果たす役割について考察する能力を養っている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象を捉える造形的な見方を深めている。 ・美術の基礎的な表現技法や表現形式について理解している。 ・親しみのある美術作品についての知識を深めている。	・感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し、構想を練っている。 ・意図や目的に応じて表現方法を工夫している。 ・自己のイメージやアイデアが他者に伝わるように、効果的で創造的な表現をしている。	・主体的に表現活動や鑑賞活動に取り組み、作品のよさを味わいながら、美的感性を高めている。 ・美術や美術文化を生涯に渡って愛好する豊かな美意識を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・道具の確認と授業の取り組み方の説明 ・日本の美術の紹介（絵巻と屏風）	a:日本の美術を通して、造形的なモノの見方や考え方を深めている。 a:日本美術の表現様式について理解している。 c:表現技法・道具・制作時間について工夫しながら、主体的に制作に取り組むことの大切さを理解しようとしている。	ワークシート		振り返りシート
	トリックアート	・トリックアートの表現 ・絵画制作とボックスアート制作	a:トリックアートの面白さについて考察し、視覚的な錯覚の効果について理解している。 b:絵画に視覚的トリックを効果的に活用して制作している。 b:ボックスアートに様々な素材を用い、視覚的トリックを創造的に表現している。 c:視覚のトリックが利用されている美術やデザインについて味わう能力を養っている。	ワークシート	作品	活動の様子
	素材研究（紙）	・紙の素材研究	a:素材の特性や扱い、紙の加工方法について理解している。 b:素材の特性を活かして習作作成を行っている。	作品	作品	
2学期	読書感想画	・読書感想画の制作 ・モダンテクニック	a:複数のモダンテクニックの技法を理解し、組み合わせて活用できる技能を習得している。 ・本の内容を造形的な表現でとらえようとしている。 b:感じ取ったことを基に主題を生成し、創意工夫して表現しようとしている。 c:他者の作品についてのよさを感じ取ろうとしている。	アイデアスケッチ	作品	活動の様子
	日本の伝統文様と繰り返しの模様	・皮革のコインケースの制作	a:日本の伝統文様についての知識を深めている。 b:繰り返しの模様を効果的に活用した皮革のコインケースをデザインしている。 c:日常生活の中の伝統文様について目を向ける素養を培っている。	ワークシート	作品	活動の様子

※令和４年度以降入学生用

３ 学期	鳥瞰図と部屋を彩る絵画	・鳥瞰図 ・絵画における主題の設定と作品制作	a:鳥瞰図の図法を理解している。 b:豊かな発想から主題を生成して空間にふさわしい絵画を表現している。 c:生活を豊かにする芸術や絵画の効果について理解を深めている。	アイデアスケッチ	作品	活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度